

# 不具合報告への動画活用

---

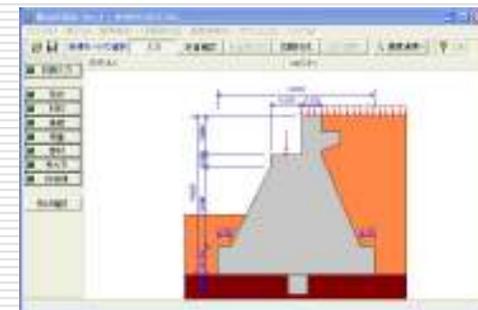
株式会社 フォーラムエイト  
TestGroup

# はじめに

---

## 「動画」の意味

アプリケーションに対する  
デスクトップ上での操作手順を  
録画したアニメーション



# 概要

---

- ・なぜ動画を使うようになったか？

背景と動機

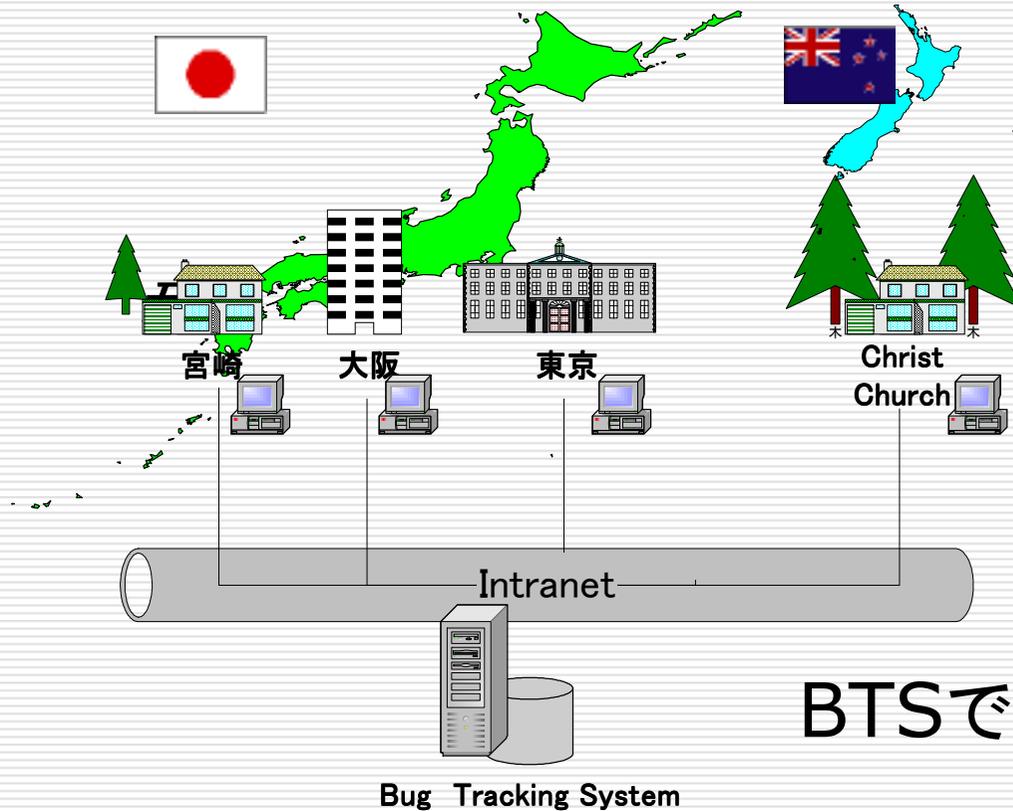
- ・利益不利益

動画を使用するメリットと問題点

- ・作成のコツ

分かりやすくコンパクトな動画を作成するポイント

# 背景



国内外に  
開発者・テスト  
技術者が分散

BTSで不具合情報を共有

# 動機

---

不具合報告作成コストが高い  
(報告作成に非常に時間がかかるBugがある)

特に(外国人)Internationalスタッフ向けの報告に顕著  
理由

- ・コミュニケーション能力(英語力)の問題  
(典型的な回答: **unable to reproduce**)
- ・アプリケーション固有の問題  
(たまたま3D系ソフトウェアの開発担当だった 等)

# メリット

---

- ・報告作成コスト低減

  - \* 作成に要する時間の減少

- ・操作手順の確認容易性

  - \* 動画では操作説明手順に漏れが発生し得ない

- ・問題点の明確化

  - \* 考慮すべき要素(アプリの状況)がすべて見えている



不具合の原因を推測しやすい

# 問題点

---

## 二次利用に対する硬直性

- ・別システムへの転用が困難  
(情報を流用し辛い)
- ・テキストをコピー&ペーストするようにはいかない

# より効果の高い適用先

---

- ・3D系ソフトウェア

- \* ユーザインタフェース／描画／動作の自由度が高いもの

- ・外国人(International)スタッフ

- \* 言葉の障壁が存在する相手

# キャプチャソフト

---

## CamStudio (Freeware)



- <http://cowscorpion.com/dl/CamStudio.html>  
お勧め。Flash形式への変換もできる。

## SnagIt (Product)



- <http://www.techsmith.com/>  
静止画、文字列抽出等も備えた多機能キャプチャソフト

# 作成のポイント(設定編)

---

ファイルサイズの縮小に主眼を置く

- ・Codec

圧縮率が良く、別途Codecのインストールを  
要求しないもの。現状では下記が無難。

- ・Microsoft MPEG-4 Video Codec V2

場合によってはFlash形式も考慮

- ・FPS(フレームレート)

10~20FPS程度で通常十分。  
オーバースペックにならないこと。

# 作成のポイント(録画時操作編)

---

基本的には下記に留意

- ・簡潔、かつ明瞭な操作

具体的には

- ・不要な操作のカット
- ・ポインティング(クリック)位置の明示
- ・マウス移動動作の簡潔化
- ・録画領域の検討